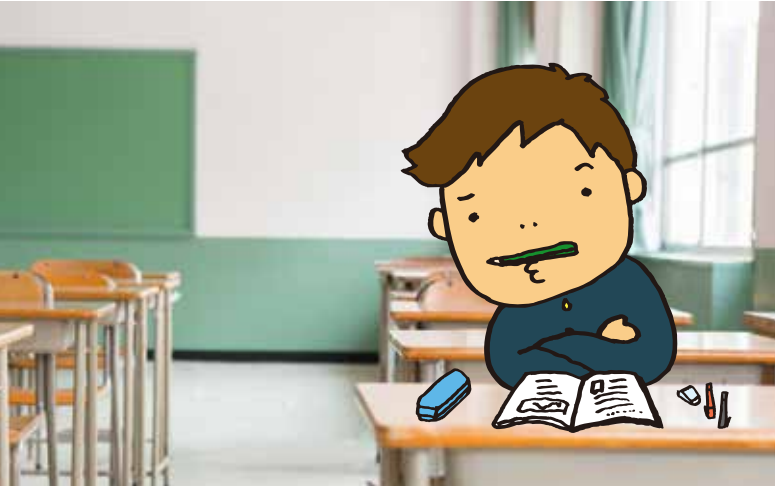


# おおかねの作文コンクール



金融広報中央委員会は全国の中学生を対象に「おかねの作文」を募集しています。  
みなさんの見たこと、聞いたこと、感じたことをもとに「おかね」について考えてみよう。  
キミの応募を待ってるよ！

**特選5編**(賞状と図書カード4万円分)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/日本PTA全国協議会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

**秀作5編**(賞状と図書カード2万円分)

■佳作50編(賞状と図書カード2千円分)

■学校賞(特選受賞者在籍校)5校(賞状と図書カード1万円分)



## テーマ 自由

テーマ（作文に書く内容）は、「おかね」に関するものであれば、どのようなものでも構いません。

テーマを考えるときの参考として、テーマの例を以下に示します。ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を自由に考えてみてください。

テーマを決めた後、作文の内容にふさわしいタイトル（題）をつけてください。

### ◆テーマの例

#### 1. 将来の夢の実現とおかねの関わり

あなたの将来の夢は何ですか。やってみたい仕事はありますか。あなたが思い描く未来を実現するために、どのようなことが心がかげ、準備をしていったらよいでしょうか。あなたの「将来設計」を、おかねとの関わり方を含めてまとめてみましょう。

#### 2. 私のおかねのルールやわが家の約束事

あなた自身やあなたの家族で決めているおかねについてのルールはありますか。商品を買うときに心がけていること、携帯電話の使い方、お小遣いのルールなど、消費者として行動の基準としている点はどのようなことですか。

#### 3. 活きたおかねの使い方とは

おかねを使うと、持っているおかねは減りますが、一方で得られる満足があります。おかねの使い方は、その人の価値観やものの考え方を表すとともに、多少なりとも世の中に影響を与える面を持ちます。買い物や貯金などについての、自分自身の体験や、周囲の人のおかねの上手な使い方について書いてみましょう。

#### 4. ニュースにみるおかね

新聞やテレビ等で報道された、おかねに関わるニュースを取り上げて、あなたが思うことを書いてみましょう。身近な地域、中学校、社会や文化、海外や世界が関係するさまざまなニュースの中で、興味がわいたり、関心を持ったニュースを探してみましょう。

## 第51回「おかねの作文」コンクール 募集要項

[応募資格] 中学生

[賞] ●特選 5編(賞状と図書カード4万円分)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/日本PTA全国協議会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

●秀作 5編(賞状と図書カード2万円分)

●佳作 50編(賞状と図書カード2千円分)

●学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)

[締め切り] 2018年9月20日(木)※消印有効

[発表] 12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(<https://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

[送付先] 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス

金融広報中央委員会コンクール事務局「おかねの作文」コンクール係

※インターネットの専用サイトからも応募できます。下記アドレスに接続し、画面の指示に従って応募フォームにより送信してください。 <https://www.ron2018.jp/>

[問い合わせ先] 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時~17時)

金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ <https://www.ron2018.jp/>



## 作文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと。

金融教育は、現実の社会の中で生きていくために必要な金融・経済などの知識や、お金を適切に取り扱う態度を身に付けることなどを目的としています。この金融教育は「生活設計・家計管理」「金融や経済の仕組み」「消費生活・金融トラブル防止」「キャリア教育」の4つの分野に分けて整理することができ、「生きる力」の育成にもつながります。作文を書くにあたっては、生徒たちへ上記のテーマの例などを参考に、身の回りのお金や自分の将来に目を向け、考えたことを書くようご指導ください。

第50回  
審査員  
(敬称略)

本田 幸一(金融庁総務企画局政策課課長補佐) 澤井 陽介(文部科学省初等中等教育局視学官) 東川 勝哉(公益社団法人日本PTA全国協議会会長)  
新飯田 潤一(全日本中学校国語教育研究協議会会長) 蔵本 雅史(日本銀行情報サービス局金融広報課長) 加藤 健吾(金融広報中央委員会事務局次長)

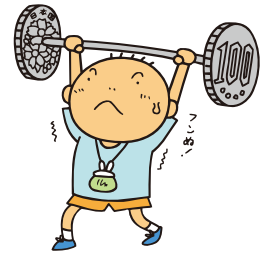
金融広報中央委員会とは?

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力を、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

# あなたは、お金やモノを大切にしていますか？

私たちの周りには、たくさんのモノやサービス、情報があふれています。「豊かな社会」の中で、私たちは本当に必要なものを選択し、使っていくことが大切です。お金の使い方もそうです。適切な判断と行動ができる消費者になるためには、将来を見越して計画的にお金と付き合えるようにならなければなりません。

金融広報中央委員会が募集した「おかねの作文」コンクール、昨年は全国から3,391点の作品が寄せられ、60点が入賞作品に選ばれました。これらの作品も参考にしながら、自分の回りで「見たこと」「聞いたこと」「感じたこと」をもとに、自分自身の意見をまとめてみましょう。



## 第50回 受賞作品の紹介 (2017)

過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。

[https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours\\_sakubun/](https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours_sakubun/)



### 金融担当大臣賞

「活きたお金」の使い方  
和歌山県 和歌山市立貴志中学校 3年  
瓜生田 彩月さん

**作品の内容** 筆者は、動物園のクラウドファンディング募集のポスターを見て、「私も動物サポーターの一員になりたい!」と強く思います。母親に相談し「それってほんまに『活きたお金』やと思うで」と言われ、貯金から3,000円を申し込みます。返礼品の入園券で訪れた動物園は、最高の思い出になりました。「3,000円は動物園の1日分のエサ代にも及ばないが、本当に有意義な使い道」だと感じ、「この先も自分の糧となるようなお金を使いたい」と結びます。審査員からは、「新しい金融分野を取り上げ、よく勉強している」との評価を得ました。

**受賞者の声** 動物サポーターになってみてお金に対する考え方が大きく変わりました。この作文を通して学んだことを忘れず、今後も「活きたお金」を使っていきたいと思えます。

### 文部科学大臣賞

人のため社会のために  
千葉県 銚子市立銚子中学校 2年  
池田 凜太郎さん

**作品の内容** 病気で入院した筆者は、百万円単位の医療費の請求書に驚きますが、母から、国や自治体の援助があり、全額を負担するわけではないと教わります。初めは申し訳ない気持ちでしたが、税金には国民が安心して暮らすための役立つ使い方があることを知り、将来は一生懸命働いて、「自分の力を、役立つお金のために精一杯使おう」と考えます。「社会の中で活きたお金とは何かについて論じられている」と評価されました。

**受賞者の声** 僕の知らなかったお金の使われ方があることを知りました。また、みんなに守られながら生きているのだということも分かりました。これからは、僕の力を役立つお金のために精一杯使い、僕やみんなの未来へつなげていけたらと思います。

### 日本銀行総裁賞

我が家のコーヒージョップ  
広島県 広島大学附属東雲中学校 3年  
高岡 沙弥さん

**作品の内容** 筆者は誕生日に買ってもらったレジスターを使い、父の提案で家庭内「コーヒージョップ」を始めます。利益を出す難しさを学び、工夫を重ね、貯まったお金でもっと美味しいコーヒーを両親に飲んでもらおうと、新しいポットを購入。将来に役立つ経験をさせてくれる両親の優しさに、「感謝し、恩返ししなければ」と結びます。審査員からは「着想が非常にユニーク」「ポットの購入は企業の設備投資に相当し面白い」と評価されました。

**受賞者の声** 自分が感じたことを作文という形で残すことで、どんなに年を重ねても今の素直な自分の気持ちを忘れずにいることができると思えます。また、お金としっかり向き合う中で、お金と気持ちの調和を大切にしていきたいです。

### 日本PTA全国協議会会長賞

五千円の価値  
栃木県 宇都宮短期大学附属中学校 1年  
吉澤 奈々さん

**作品の内容** 夏休みの1週間、実家の食肉店の手伝いに臨んだ筆者は、「一生懸命働いてお金を得ることは大変だ」と痛感。最終日に父から思いがけずもらった小遣いは、お年玉とは重みが違って、お金の大切さを改めて感じます。この体験から、無駄使いを防ぐ3つのルールを考え、今後は上手にお金を使おうと決意します。「働くことの価値に加え、お金の使い方のルールなど考え方に広がりがある」と審査員から評価を受けました。

**受賞者の声** この体験を通して、「手伝いをして得た」お金と、「お年玉でもらった」お金では、金額は同じでも価値が違うということを実感しました。これからは、お金というものを大切に、工夫して上手な使い方をしていきたいと思えます。

### 金融広報中央委員会会長賞

使ってこそ  
千葉県 浦安市立浦安中学校 1年  
森山 ひかるさん

**作品の内容** 母子家庭の筆者は、お金がないために友達と一緒にいきたい所に行くのを諦めようとした時、母に「お金は使うためにあるもの」と諭されます。さらに、日頃貧乏に不満を漏らす兄が、実は給付型奨学金を受けるなど、お金がなくてもやりたいことを実現していると教わると、筆者は「自分に好機が巡ってくるように、情報と心のアンテナを張り巡らせておこう」と決意します。審査員は、「ハンデがあってもめげない強い姿勢を感じた」と評価しました。

**受賞者の声** この作文を書くことによって、学校選抜の留学や給付型奨学金を調べ、国のお金がどのような仕組みで使われているか知ることができて良かったです。これからはますますお金を賢く使っていこうと思いました。

### 50回記念特別賞

着物に思いをつなぐ  
茨城県 日立市立十王中学校 2年  
植木 柚来里さん

**作品の内容** 筆者の家では、曾祖母が「高くても良いものを」と買った七五三の着物が、35年間大切に受け継がれています。すぐに食べる食材などは安いものを買うという筆者は、「安いから価値のあるもの、高価だから価値のあるもの、どちらを選ぶにも理由がある」と考えます。そして、着物に込められた思いを大切に、次の世代につないでいこうと決意します。「お金の尺度だけでは測れない、多様な価値観を論じている」点が評価されました。

**受賞者の声** お金や物の価値について考えたことで、自分が大切にしたい価値観が見えてきた気がします。受賞が決まったとき、祖母に一番に報告しました。心から喜んでくれた祖母のために、次はこの着物を私が守っていく、という思いを強くしています。

### 秀作

祖父の想い 大分県 向陽中学校 2年 阿南 善太郎さん  
お金の使い方 千葉県 千葉大学教育学部附属中学校 3年 下ヶ橋 ひかるさん  
仕事をするということ 新潟県 新潟大学教育学部附属新潟中学校 3年 荒川 みのりさん  
お金と物と未来と私 静岡県 静岡市立清水第二中学校 3年 村松 悠加さん

### 学校賞

栃木県 宇都宮短期大学附属中学校  
千葉県 浦安市立浦安中学校  
千葉県 銚子市立銚子中学校  
和歌山県 和歌山市立貴志中学校  
広島県 広島大学附属東雲中学校

# 応募の注意点

●文字数について **空白を含む1,600~2,000字** (参考文献・出典は含みません)

 <b>原稿用紙で 書くなら</b>	<b>400字詰め原稿用紙</b> ※タテ20字×ヨコ20行	 <b>パソコン原稿で 書くなら</b>	<b>1行20字詰め</b> ※1枚につき30行以内
---	-----------------------------------	---	-------------------------------

◎作品募集ホームページ (<https://www.ron2018.jp/>)にある応募用原稿用紙をご利用になることもできます。

## ●応募について

個人で応募する場合	・下記応募用紙に記入してください(応募用紙はコピー可)。 ・作品タイトル、氏名(ふりがな)、学校名(ふりがな)、学年、学校および自宅の住所、電話番号、FAX番号を記入して作品に添付してください(応募用紙は必ず本人が記入してください)。
学校単位で応募する場合	・学校宛てにお送りしています <b>学校専用応募用紙</b> にてご応募ください(学校専用応募用紙はホームページ < <a href="https://www.ron2018.jp/">https://www.ron2018.jp/</a> > からダウンロードすることもできます)。 ・下記応募用紙(個人用)は不要です。

◎応募は未発表の作品に限ります(インターネット上での作品公開も発表とみなします)。また、二重投稿はご遠慮ください。 ◎日本語に限ります。 ◎作品は理由を問わず返却しません。  
 ◎入賞作品の著作権・著作権は主催者に帰属します。 ◎佳作の作品は公表しません。  
 ◎作品公表の際には個別企業名や商品名に関する表記を変更させていただくことがありますので、予めご了承ください。

# 作文を書くにあたってのご注意

- ・本文冒頭1行目に作品タイトル、2行目に学校名、学年、氏名を記入してください。本文は3行目から始めてください。
- ・規定文字数に達しない作品は審査の対象となりません。  
※原稿用紙によらないパソコン原稿の場合も同様です。
- ・右肩をホチキスで留めてください。

### 参考文献の明記

- ・参考にした文献(書籍、インターネット等)はすべて、作文の最終ページに必ず記入してください。

### 引用するときの注意点

- ・他の人の文章は、なるべく使用しないようにしましょう。
- ・どうしても使用したいときには、かぎ括弧をつけて自分の文章と明確に区別したうえで、作文の最終ページに、必ず出典を記載してください。

出典例 『出典』 ○校目○行目○金銀広報中央委員会 『ビギナーズのためのファイナンス入門』 ○出版、二〇一〇年三月、二十五ページ ○校目○行目、金融広報中央委員会 『きみはリッチ?』多重債務に陥らないために 1. <a href="http://www.yokohama-nishi.ac.jp/~econ/">http://www.yokohama-nishi.ac.jp/~econ/</a> 閲覧日二〇一八年七月十九日
--

(出典の記入例)

インターネットの場合  
 ○校目○行目(応募作品中該当箇所)、著者名、書籍名、出版社名、出版年参照または引用したページ  
 URL、閲覧日

書籍の場合  
 ○校目○行目(応募作品中該当箇所)、著者名、書籍名、出版社名、出版年参照または引用したページ

本文冒頭の記入方法 ○1行目 作品タイトル ○2行目 学校名、学年、氏名 ○3行目 本文
---

(記入例)

※応募の際は、下記個人情報の取り扱いについて保護者の方にもご確認いただいたうえでご応募ください。

**個人情報の取り扱いについて** ●応募者の個人情報は、入賞作品の選考、入賞者への連絡のためにのみ使用し、主催者および当コンクール業務受託先が責任をもって管理します。●応募者本人または保護者の許可なく第三者に個人情報を開示することはありません。ただし、法律や法的拘束力のある命令等に基づいて開示が要求された場合には、その要求に応じることがあります。●入賞者の氏名・学校名・学年および作品の一部は、金融広報中央委員会ホームページ等にて公表させていただきますので、予めご了承ください。



キリトリ

## 第51回「おかねの作文」コンクール 応募用紙(個人用)

作品タイトル		
ふりがな 氏名	ふりがな 学校名	学年
立 中学校 年		
学校住所 ( 〒 - ) 都道 市区 府県 郡		
学校電話番号 ( ) -	学校FAX番号 ( ) -	
<small>※マンション、アパート名等も必ずご記入ください。</small>		
自宅住所 ( 〒 - ) 都道 市区 府県 郡		
電話番号(日中連絡の取れる先) ( ) -	FAX番号 ( ) -	

下記のアンケートにご協力ください。

◎このコンクールはどちらで知りましたか。番号を○で囲んでください。(複数回答可)

1.ポスター 2.チラシ 3.新聞や雑誌(媒体名 ) 4.ホームページ 5.知人から 6.学校 7.その他 ( )

※応募者の個人情報は当コンクール以外の用途には使用しません。